

評価委員からのご意見

【安全管理体制について】

○避難滑り台の避難訓練は行っているか

（園の回答）最近では階段を使用した避難に変更。変更の理由として、避難滑り台の傾斜が急でスピードがつきすぎ、かえって危険を感じる場面があった。スピードを抑えるために、足で押さえながら、滑り降りる練習もしていたが、階段を下りるよりも時間がかかる。また、出火原因として最も可能性が高い場所はボイラー室であり、その場合、避難滑り台との距離が近いので、ボイラー室を出火元として想定した訓練では、避難滑り台を使用することはできない

→東日本大震災等の地震もあったので、訓練は重要。引き続き行った方がよい

○玄関扉の施錠について

・自動扉を設置できないのであれば、玄関扉の鍵の部分に、テープ等で開閉の目印をつけてはどうか。外部からは分からないが、内部の人にとっては、開閉状況が視覚的に分かりやすくなる

【情報発信について】

・個人情報とのバランスについては悩ましい問題だが、SNSを利用している人々は、必ずしも子どもの表情だけでなく、施設の設備や製作物に関心をもっていることがあるため、これらの内容も積極的に発信すべき。

・具体的には、エアコンや砂場に設置した日よけテントなどの施設面をアピールすることで、魅力的な施設だと認識してもらえる。

暑い時期に砂遊び後等に涼しい場所で遊べることをアピールすれば、施設に興味を持ってもらえる可能性が高い。

【文化体験の機会について】

・今年度、琴の音楽会に参加したようだが、明の星中学・高校で茶道、華道、琴を学べることに魅力を感じている方も多い。日本文化を体験できる機会は貴重。

（園）来年度は、役員さんのご紹介で、華道の体験を予定している。

・こういった機会を、テレビや新聞等の報道機関を通じて、広めることも大切。

テレビ、新聞の信頼度はまだまだ高い。報道されることで、園の信頼度も高まる。

・報道された内容をあらためて園内に掲示したり、SNSに掲載するとよいのでは。

・例えば、各園の子どもたちが出演しているABAの「ハッピー音頭」への出演はどうか。

1か月間放映されているので、認知度も高まるのでは。

【地域活動と園のアピール】

・園に飾ってあるねぶたを制作した方をお願いして、金魚ねぶたの制作体験なども行ってはどうか。

・制作した金魚ねぶたを持って、祭りに参加するのもよいのでは。

今年度、浪打小学校とカトリック幼稚園が合同でねぶたを運行していた。園の存在をアピールすることができるのでは。

・参加時には、園の旗や垂れ幕等を持って歩くことで、園の存在をアピールすることができ、卒園生に協力をお願いして、旗を持ってもらうのもよいのでは。

【園の畑と食育について】

・園の畑で野菜を育てているのであれば、それもアピールになる。

・大根、じゃがいもだけではなく、ミニトマトなど他の野菜も育てて食育に取り入れては。

※自己評価に関しては、特別異議はなく、概ねご賛同いただいた。評価委員の議論は、園の運営改善のための話し合いに集中して行われた。園全体に関する改善点や提案を中心に、意見を数多く述べていただき、より良い園運営のための貴重な示唆をいただいた。これらのアドバイスを基に、園の今後の発展に向けた改善の方向性を見出すことができ、具体的な施策を講じる上で大いに参考となった。